

一般財団法人 中辻創智社

困難な状況にある子ども達への学習支援 申請書 <記載例>

申請日： 2022 年 11 月 5 日

次の 1~17 について、下線部に記載してください。

前回（2022 年公募）採択団体で今回も申請する場合は、18 についても記載してください。

1. 申請団体名を記載してください

〇〇子ども食堂

2. 団体種別を記載してください（任意団体、もしくは法人格を有する場合は法人格）

任意団体

3. 団体所在地（住所）を記載してください（郵便物が届く住所をご記載ください）

郵便番号 xxx-xxxx

住所 京都市〇〇区〇〇町 xx-xx-x

4. 団体連絡先の電話番号、メールアドレスを記載してください

電話番号 075-xxx-xxxx

メールアドレス info@xxx.com（代表） xxx@xxx.com（申請者）

5. 団体の設立年月日を記載してください

2015 年 x 月 xx 日

6. 団体の代表者氏名、申請担当者氏名を記載してください

代表者氏名 〇〇 〇〇〇

申請担当者氏名 〇〇 〇〇〇

7. 団体ウェブページ（SNS を含む）が有る場合は、URL を記載してください。無い場合は「無し」と記載してください。

<https://www.xxxxx.xxxxxx.xx>

8. 団体の分類を次の 3 つ「子ども食堂・子どもの居場所・その他」から選んで記載してください。「その他」を選らんだ場合、例えば、「学習教室」「養護支援」のように具体的に

どのような活動を行う団体なのかも記載してください。

子ども食堂

9. 本助成金への申請金額を記載してください (50 万円、もしくは 50 万円以下の任意の金額)

50 万 円

10. これまでに行政からの助成を受けたことが有るか記載してください。有る場合、具体的にどのような助成を受けたかも記載してください。

有る (京都市〇〇〇〇助成金)

11. これまでに子ども達への学習支援を実施したことがあるか「有る」「無い」を選んでください。「有る」を選んだ場合 11-1 へ、「無い」を選んだ場合 11-2 へ、記載してください。

学習支援の実績が 有る ・ 無い

- 11-1. 学習支援の実績が「有る」を選択した場合、次の項目へ回答を記載してください。

- (1) 学習支援はいつから実施していますか。

2018 年 xx 月より実施

- (2) 学習支援は、どれくらいの頻度で実施しています。

週 2 回 (月・木)

- (3) 学習支援の対象は誰ですか。

子ども食堂に集う小学生・中学生

- (4) 学習支援の対象となる人数はどのくらいですか。

1 回当たり：10 人程度

- 11-2. 学習支援の実績が「無い」を選択した場合、次の項目へ回答を記載してください。

- (1) 学習支援はいつから実施する計画か記載してください。
-

- (2) 学習支援は、どれくらいの頻度で実施する予定か記載してください。
-

- (3) 学習支援の対象は誰ですか。
-

(4) 学習支援の対象となる人数はどのくらいになる見込みですか。

1 回当たり： _____ 年間のべ人数： _____

12. 本助成事業は、助成金の 50%以上を学習支援のための人件費（大学生や大学院生などの若い世代）に充てることを申請要件としています。学習指導にあたる若者への伝手が有るかどうか記載してください。「有る」を選んだ場合 12-1 へ、「無い」を選んだ場合 12-2 へ、記載してください

学習指導にあたる若者への伝手： 有る ・ 無い

12-1. 若者への伝手が「有る」を選択した場合、どのような伝手・ご縁が何名程度あるかを具体的に記載してください。

子ども食堂にボランティアで来てくれる近隣の〇〇大学の大学生 3~5 名
(〇〇大学の〇〇サークルの活動の一環として)

12-2. 若者への伝手が「無い」を選択した場合、学習指導にあたる若者をどのように探す予定かを具体的に記載してください。

13. 団体の通常の活動内容について、内容や目的、対象、活動に取り組む理由を記載してください。団体のチラシやポスター等、活動の様子がわかる資料があれば別途ご提出ください。

〇〇地域は、小学校における一人親家庭率が約 40%と高く、生活保護家庭も約 20%であり、行政課題が多く集中している地域の一つです。地域活動を通じて生活困窮世帯の子ども達が幾度となく傷つき SOS すら出せない状況を目の当たりにし、子ども達が空腹を満たし心の拠り所にできる場所があればと考え、有志 3 名で子ども食堂を立ち上げました。現在は、スタッフ 5 名に加え、社会人ボランティア 3 名、大学生ボランティア 3~5 名で週 2 回（月・木）活動し、子ども食堂には毎回小学生・中学生約 10 名が訪れます。地域の民生委員や小中学校とも連携をとり、虐待等の問題にも対応しています。子ども食堂の設立当初よりスタッフが子ども達の宿題を見ていたのですが、勉強自体に興味を持っていない子どもが多く、食堂の片手間では対応が難しくなったため、2018 年 xx 月より近隣大学のボランティアサークルの大学生に来てもらい学習支援を開始しました。子ども達の学習への動機付けとして、夏休みの花火大会やクリスマス会を企画し、買い物リストや予算作成、お店への買い出しを通じて学ぶことの大切さを実感してもらえるよう工夫しています。日々の子ども食堂の様子や

イベントについては、チラシとポスターを参考資料として別添します。大学生ボランティアの皆さんに来てもらえるようになったことで、自分たちに年齢の近いお兄さん・お姉さんに心を開く子どもが増えました。身近なロールモデルを得たことで、高校や大学への進学を考える子どもも増えました。また、大学生側にとっても自己肯定感の向上の一助となれており、良き経験を積んでもらえています。これまで大学生ボランティアの皆さんには交通費すら出せず心苦しかったため、本助成金を活用し少しでも報いることができたらと思ったため、申請いたしました。

14. 本助成金による学習支援の実施計画を記載してください。

- (1) 実施場所： 〇〇子ども食堂内
- (2) 実施スケジュール： 週2回（月・木）16:00~19:00
- (3) 学習支援の対象者： 小学生・中学生
- (4) 見込まれる参加者数： 毎回10名程度
- (5) 学習指導にあたる若者と人数： 近隣の〇〇大学の大学生3~5名
- (6) 具体的な実施計画について具体的に記載してください：

毎週2回（月・木）の夕食前に宿題を中心に取り組みます。子ども達の自己肯定感と達成感を育むため、宿題の内容に近いところの問題集やドリルも活用しています。また、授業でわからなかったところやテストの復習にも力を入れています。
毎回、平均4名の大学生ボランティアが来てくれ、これに元中学教員の社会人ボランティア1名を加えた5名ほどで、学習指導にあたります。一人で座って宿題に取り組める子どもばかりでなく、勉強に意味を見いだせない子どもやじっとしてられない子どもについては、一対一で丁寧に話を聞きながら対応しています。
月に1度、大学生や社会人ボランティア、スタッフでミーティングをもち、学習指導の課題や対応について相談し、情報共有を行なっています。

15. 本助成金の支出計画を記載してください。

費目	内訳及び積算根拠（名称・単価・個数など）	金額（円）
学習支援 人件費	学習指導 1回あたり 1,000円 x 4名 x 96回	384,000
	交通費 1回あたり 500円 x 1名 x 96回	48,000
	学習支援人件費合計（円）	432,000
文房具	ノート代（200円 x 20冊）、鉛筆代（1,000円）	5,000
雑費	花火代	5,000
食料品	クリスマス会のお菓子代・飲み物代	10,000
雑費	コロナ対策費用（エタノール、マスク、石鹸）	10,000
書籍代	問題集ドリル代（1,000円 x 10冊）	10,000
消耗品	プリンタートナー（26,000円）、印刷用紙代（A4 2500枚 2,000円）	28,000
	学習支援人件費以外の合計（円）	68,000

16. 他の財団の助成金など、本助成金以外の収入が有る場合、収入名・用途・金額を記載してください。該当が無い場合、「無し」と記載してください。

収入名： 無し

用途： _____

金額： _____

17. 貴団体と連携がある団体、共同での活動がある団体があれば記載してください。無い場合は「無し」と記載してください。

〇〇大学の〇〇サークル（学習指導員として）

〇〇フードネットワーク（食材の提供）

△△子ども食堂、□□子どもの居場所（学習支援について相互に協力体制）

18. 前回（2022年公募）採択団体で、今回の公募にも申請する場合、記載してください。同一団体の採択は最大3回までです。

(1) 2022年の子ども達への学習支援について、実施状況を具体的にご記載ください。

(2) 2022年の子ども達への学習支援について、得られた成果や課題をご記載ください。
